

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、20カ国、国内外の80のパートナーと協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「ここからだの飢餓」に応える活動をしています。

ニュース読者様に大切なお知らせ
今月号から本紙お届け数が増える

新しい送付部数	従来の送付部数	部数
1	1	同
5	2~5	増
10	6~10	増・同
15	15	同
20	20~25	同・減
30	30~40	同・減
45	45~65	同・減
70	70~80	同・減
100	100	同
150	110~150	減・同
200	160~200	減・同

本年1月からお知らせしていた通り、これまで2部以上の送付希望の読者様に対して送付部数の変更をしました。(表参照)読者様によりましてはお届け数の増減が発生いたします。大変ご迷惑とお手数をおかけしますが、郵便料金値上げ対策として何卒ご理解のほどお願い申し上げます。なおメール、電話あるいは下記オンライン申込フォームで、希望部数の変更手続きを付けております。次号以降から順次変更することができます。



あなたの祝福を分かち合いませんか
Giving Back
わたしから始める...愛の恩返し

遺贈寄付
顧問弁護士が無償でご相談等お手伝いします

Hunger Zero
東京事務所・近藤 TEL.03-3518-0781
詳しくは電話でご説明しますのでご連絡をお待ちしています

専門講師(弁護士)による出張個別相談もできます

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL416号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円(1口1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円(1口500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして、必要事項を記入の上、FAX又は郵送にて大阪事務所までお送りください。確認書類を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

ハンガーゼロサポーター 現在...5319口

※記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News
ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

2025

3

No.416



Hunger Zero News 今月号の内容

能登ヘルプ・岡田代表に聞く	P.2
カリスチャベル神路の能登半島支援	P.3
チャイルドサポーター 家族のストーリー	P.4
物資支援報告(南スーダン他)	P.5
ハンガーゼロ 春の催事ご案内	P.6
ハンガーゼロのスタッフブログ	P.7

輪島市門前町での炊き出しボランティア(2月)

理事会を開催

一般財団法人日本国際飢餓対策機構の「定例理事会」が3月7日(金)に大阪で開催されます。今年度上半期(2024年7~12月)の事業報告などが審議されます。

2/24に大阪マラソン開催

今回ハンガーゼロを応援するために6名のチャリティランナーさんがエントリーされました。当日の様子は後ほど報告いたします。

発行 清家弘久

発行所 一般財団法人日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

募金方法

※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



●Vポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,805,913ポイント(円)のご協力(26,446件)がありました。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1

(広島/沖縄) TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155

東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室

(東北) TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F

TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132

USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa

TEL (510)568-4939

AMERICA合衆国の方はHP又QRからお申込み

下さい。クレジット決済が可能です。

jifh.ainote@gmail.com HP <https://ainote.org>

【本紙の送付についてのお問合せは】左記eメールアドレス、Webサイトのお問い合わせ、または大阪事務所までご連絡ください。



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

Hunger Zero 能登半島地震活動報告

能登ヘルプ

ハンガーゼロは昨年1月の能登半島地震の被災者支援のために、地元のキリスト教会が支援ネットワークとして立ち上げた「能登地震キリスト災害支援会（能登ヘルプ）」と連携、緊急・復興支援活動を続けてきました。能登ヘルプ岡田 仰代表（金沢独立キリスト教会牧師＝ハンガーゼロ支援教会）にこの1年の歩みと今後の展望を伺いました。



おかた こう

LOVE EASTの活動現場（志賀町）に能登ヘルプとともに合流（昨年3月）



ハンガーゼロは「能登ヘルプの伴走者」でした

1年を振り返って

一番驚いたのは、能登ヘルプに延べ5千人を超えるボランティアが来てくれたことです。日本のキリスト教会の数が減少傾向になる中でこんなにも応援がいただけたことは何よりの感謝です。

地震直後で混乱状態の中、ハンガーゼロやオペレーションプレッシング、キリスト全国災害ネット（キリスト教会、諸支援団体などが加盟）がすぐに駆けつけてくれたので支援に着手することができました。ハンガーゼロの支援教会による炊き出しや「FUKUSHIMAいのちの水」からの大量のペットボトル水は被災者に喜ばれました。皆さんは能登ヘルプの伴走者のような存在となり、共に活動を支えていただきました。



ケーキプロジェクト

最近の活動事例は

昨年12月、輪島市門前町の仮設住宅でクリスマスケーキを戸別配布するプロジェクトで、ご婦人たちから「最初は心が折れていました。でも（能登ヘルプが）何度も何度も来て催しをしてくれるので、だいぶ元気になりました」とのお声を聞くことができました。例えば小さな支援でも積み重ねていくことで信頼関係が生まれ、そうした声も聞けるようになった

たと感じています。他にも手伝った被災者から教会の日曜礼拝に行ってみたいとか、お寺の住職から聖書を読んでもたいという声も聞いています。

被災者へのアプローチ

被災者から関係を切られてしまわないよう、寄り添い続けることが大切だと考えています。当然ですがキリスト教に抵抗がある被災者もおられますので、地域社会のニーズ（物資配布やボランティア支援）にまず応えつつ、キリスト者の団体として被災者の心のケアにもバランス感覚をもって寄り添えるように心がけています。そのためにも、被災者のどのような要請にもできる限り応えるようにしています。

これからの役割や活動方針

現在は被災場所の片付けの支援から、避難先の仮設住宅支援に移りつつあります。ただ信頼関係が出来てやっと本当の必要を言われる人たちもいます。だから被災場所の支援はこれからもあると思っています。未だ手付かずの被災現場もありますから。

いま穴水町に活動ベースを設置する計画を進めています。支援のために被災地に入る人が少なくなってきて寂しく感じる被災者も少なくありません。だから被災地に新たな場所を設けて、そこに宿泊して被災者との関係を継続しながら支えていければと思っています。将来はキャンプ場みたいな形でいろいろなニーズにも応えたいですね。

私たちの教会では能登ヘルプに参加された方のために宿泊所を開設していたので、信じられないくらい忙しかったです。（岡田代表の奥様）



カリスチャペル神路

梁 東勲氏は1995年1月16日、韓国から大阪に到着した翌日に阪神淡路大震災に遭遇し、甚大な被害と被災者を目の当たりにして「日本人のために宣教師になりたい」と決意、2001年に資格を得、現在はカリスチャペル神路（大阪市内）の牧師として仕えておられます。神戸の体験があったので、「地震の被災者や社会の弱者に寄り添いたい」と社会福祉事業や被災者支援活動にも積極的に取り組み、能登半島地震被災者支援でもハンガーゼロの強力なパートナーとして現地に人を送り続けておられます。お話を伺いました。



「能登を忘れないで」の声に引き続き

能登半島での支援活動について

この1月に4回目の支援活動を行いました。初日は羽咋市の仮設住宅で入居者と一緒に餅つきをしました。その後は和倉温泉ホテルや輪島市と門前町でも片付け支援と教会の婦人たちの手作りお弁当250食分の提供などをさせていただきました。皆さんが韓国料理美味しいねと喜んでくださいました。



この支援に取り組む思い

私たちの教会では今年「世の光となる教会」をテーマに掲げました。今までも介護福祉事業（教会建物内のデイサービス）や障がいをもった方々も気楽に入れるカフェなどで地域社会に奉仕してきましたが、能登の人々にも寄り添う活動をしていきたいとみんなで活動資金を集めて、2ヵ月ごとに能登を訪問する計画を



高知ペンテコステ教会隣接のクリニック

医療法人オリーブ
大川内科
循環器内科・内科・老年内科
院長 大川 真理

仮設住宅での炊き出しボランティア、後方左端に梁牧師



立てました。

昨年初めて輪島市門前町に入った時、その地域で支援活動を始めておられた門前聖書教会のトラス宣教師の奥様の「能登のことを決して忘れないでほしい。一度きりではなく、細く長く来て被災地を覚えていただきたい」との言葉が心に残りました。だからたとえ小さな活動でも継続していこうと決めました。この4月には現地での活動のため専従のワーカー1人を派遣することにしました。

仮設住宅などでの活動

4月に仮設住宅でキムチ作り講習をします。昨年の訪問の時に手作りのお弁当が喜ばれ「作り方を教えて」という声をいただきました。それで材料（食材、容器類）を全部こちらで用意してもう一度訪問することにしました。私たちもそれを楽しみにしています。食べ物だけではなくコンサートや軽い運動の機会を提供したりもしています。仮設での暮らしは厳しいと思いますので、できるだけ身体も心も安らいでいただければと思います。昨年秋にはキッチンカーを導入できたので活用していきます。必要な方に貸し出すことも考えています。



ハンガーゼロへの協力について

私は日本や韓国の教会関係者のための海外ツアー企画と運営をしています。できれば、ハンガーゼロとタイアップしてジェロムスタッフの活動地のコンゴ民主共和国に行けたらと思います。その実現のために何（参加者・募金集めなど）ができるか考えています。戦争や貧困で苦しむ人々や子どもたちのために何かできる機会になればと思います。



ボリビア

FH=国際飢餓対策機構

ルス エリアナ パツィ フローレスさんの家族は、食料も水も不足し、住む家も満足にない厳しい生活を送っていました。しかしFHボリビアの支援を受け、レモン栽培の技術を学び、生活が一変しました。苦労も多かったですが家族みんなで協力し、レモン栽培に成功。収入が増えて家を建てることができ、子どもたちも学校に通えるようになりました。

レモン栽培にチャレンジして夢が実現



ウィルフレッドさんの夢

ルスさんの家族は、トウモロコシやサツマイモで自給自足していました。雨季を待ち、わずかな収穫を家族で分け合う日々でしたが、土地は痩せ、作物は思うように育ちませんでした。父親のウィルフレッドさんは、いつか生活を豊かにし、子どもたちのために家を建てることを夢見ていました。

そんなある日、ルスさんの村にFHがやってきました。FHのスタッフは、村の人々の生活を改善するために様々な支援を提供、ウィルフレッドさんはスタッフたちの熱意に感化され、積極的に協力するようになりました。

FHの支援で家族はレモン栽培の技術を学び、^{かんがい}灌漑システムを導入することができました。最初は小さな実ばかりだったレモンが翌年には大きく実り、市場でも高く評価されました。収穫量も4倍に増え、家族は初めて十分な収入を得ることができたのです。

家族の笑顔

レモン収穫の日は家族みんなで歌いながら、黄色く実った実を一つ一つ丁寧に摘み取ります。ルスさんは、「こんなにたくさんレモンが収穫できたのは、神様のおかげ」と、目を輝かせていました。

父親のウィルフレッドさんは、新しく建てた家で迎えた朝、窓から差し込む朝日を浴びながら、神様とFHのスタッフに心から感謝しました。

未来への希望

今ではルスさんの村には清潔な水が引かれ、子どもたちは学校に通っています。ウィルフレッドさんは村のリーダーとして、地域の発展に貢献しています。彼の夢は村全体を豊かにすることです。この家族の話は地域の人たちに希望を届けています。困難な状況でも諦めずに努力し、周りの助けを借りることで、夢を実現することができました。

～新たな出発～

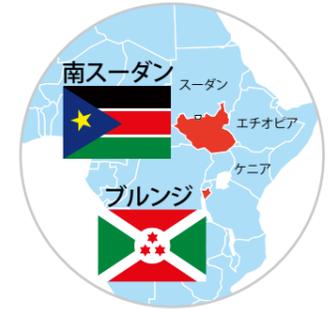
FHボリビアとハンガーゼロはアサワニとリオカイネの地域で最も弱い立場にある人々に焦点を当て、貧困を撲滅するために12年にわたり協力をしてきました。2024年12月末で支援活動は終了しましたが、活動を通して育てられ訓練を受けてきたリーダーたちが、今後の変革の担い手となって地域の課題に向き合い、環境改善のために積極的に関わるよう人々を鼓舞し、意欲を高めていくことを期待します。何よりも子どもたちがよりよい環境の中で成長できることを願ってやみません。これまでの皆さまの温かいご支援を心から本当にありがとうございました。

2024年11月に延期となっていたクロージングセレモニーが、3月に開催されます。ハンガーゼロからも職員が出席します。詳しくは、後日報告させていただきます。

お知らせ：最終P.8ページに「ウガンダ支援地訪問」の参加者募集のご案内を掲載しています。

物資支援

ハンガーゼロは、FHカナダとの協働により2024年も南スーダン、ブルンジ、グアテマラに必要な物資援助を行いました。ニュースレター2月号でのグアテマラへの食料支援報告に引き続き、南スーダンへの医薬品支援とブルンジへの食料支援についてご報告いたします。



南スーダン 国内避難民キャンプに医薬品

長年の内戦の末、2011年7月に独立を果たしたものの、その後も不安定な情勢が続き、南スーダンの医療体制は、インフラ面でも人員面でも大幅な不足状況が続いています。2023年には、スーダンの内戦から逃れて来た60万人余りの難民を受け入れており、国連人道問題調整事務所 (OCHA) によると、人道援助を必要とする人は、人口1,240万人のうち590万人に達しました。



そんな中、2023年12月に届けられた援助物資の医薬品は、現地パートナーであるニューテスタメントキリスト教会を通して、首都のジュバやパジョクの国内避難民キャンプで、寡婦、孤児、傷病者など長引く戦闘による影響を受けた人たちのために

用いられています。国連平和維持軍によって守られている国内避難民キャンプでは、パジョクで約500人、ジュバでは1カ所で約800人、もう1カ所で約500人の合計1,800人が貴重な医薬品の恩恵を受けており、2025年の支援物資も届いたと連絡が入っています。

ブルンジ 乾燥スープミックスを108万食余

人口密度の高い内陸国であるブルンジは、人口の70%以上が生活に必要な収入を得ることができていません。国連世界食糧計画 (WFP) によると、人口の41.2%が食料不足に直面しており、5歳未満の子どもの56%近くが栄養不足に



よる発育障害に苦しんでいます。

ハンガーゼロは2024年に栄養補給に役立つ乾燥スープミックス108万7,700食分を届けました。スープミックスは現地パートナーであるFHブルンジが受け取り、活動地域であるカバロレ、ムウンバ、ブソニのコミュニティリーダーと協力して配給しました。カバロレで559世帯、ムウンバでは450世帯の最も必要性が高い家庭に、ブソニでは障がい者センターで暮らす70人の方々に渡されました。

スープを受け取った人々の間では、2024年のスープはこれまでのものよりも味も香りも良く、調理しているうちに嵩が増してくると好評です。野菜の代わりに、メイズ（とうもろこし）やキャッサバのパン、サツマ芋やジャガ芋、お米やタロ芋、調理用バナナなどと一緒に食べられています。その一人で8人の子どものいるファビオラさん（44歳）は、8袋（800食分）のスープミックスを受け取りました。「ちょうど種まき前の端境期にスープが届きました。野菜が不足している時期で大変助かりました。」と感謝していました。



2つの支援方法

子どもを支援する

支援地域の特定の子どもとつながり、地域で行われる活動をご支援いただけます。あなたと出会い、応援を受ける子どもは自分が愛される大切な存在であることに希望を抱き、地域を変えるひとりへと成長していきます。

月々4,000円

子ども1人を支援することができます。

活動を支援する

子どもたちが暮らす地域で行われる様々な活動をご支援いただけます。地域に住む人々がそれぞれの役割を果たし、子どもを取り巻く環境の改善と質の向上を目指します。

1,000円～

月々または自由なタイミングで支援できます。



ウェブサイトからもお申し込みできます



お電話での問い合わせはチャイルドサポーター事務局へ 直通TEL072-920-2226

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索

春のハンガーゼロ催事・ご案内

ハンガーゼロウェブ
サイトやSNSでも情
報配信しています。
要チェック!



厳しく長かった冬から穏やかな光によやく春の到来を感じられる3月中旬、ハンガーゼロの楽しい催事が東西で開催されます。



まず東京で15日に世界食料デー2024のフィナーレとして、白鞘慧海親善大使によるゴスペルコンサート「TOKYO WORLD FOOD DAY+GOSPEL」が行われます。今回も出演者と来会者による熱気溢れるコンサートになることでしょう。田村巡回牧師の講演もあります。続いて大阪では18日から22日まで「みなみななみイラスト展」が開催されます。みなみさんは、子どもニュースをはじめ様々なイラスト作品でハンガーゼロに協力してくださっています。20日(祝)には、森祐理親善大使と災害支援部・申スタッフとの対談企画もあります。東京・大阪会場とも入場は無料です。ぜひご来場ください。

TOKYO WORLD FOOD DAY + GOSPEL 2025
2025 3/15 土
14:00開場 14:30開演
会場 お茶の水クリスチャン・センター 8Fチャペル (JR御茶ノ水駅徒歩2分)
出演アーティスト 白鞘慧海 (ハンガーゼロ親善大使) クロスコスベル スペシャルクワイア +スペシャルバンド ほか
参加無料 席上奉養あり
講演 田村治郎 ハンガーゼロ巡回牧師

God's loyal love couldn't have run out
Hunger Zero
みなみななみ イラスト展 in 大阪
入場無料
2025 3.18(火)~3.22(土)
10:00-17:00 最終日22(土)は15:00まで
日本ナザレン教団大阪桃谷教会 2F小ホール
トークイベント 3.20(水・祝) 被災者支援の現場から 11:00-11:30 震災半島地震 14:00-14:30 トルコ地震
主催 ハンガーゼロ TEL:073-929-2225 (大阪事務局)
協力 モリユリ・ミュージック・モニストーリー 八尾トーヨー住居株式会社 日本ナザレン教団大阪桃谷教会

他団体とも協力、広がる支援

昨年10月、小堀親善大使が韓国飢餓対策機構のコンサートに出演。今年2月には東京で紫園親善大使が東京プレーヤーセンター主催の春待ちコンサートに出演、また韓国飢餓対策機構親善大使夫妻によるチャリティコンサートが開催されました。応援に心より感謝します。



KFHI釜山理事会・希望のコンサート (韓国)



TPC主催「春待ちコンサート」(東京)



ハンガーゼロチャリティコンサート (東京)



私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty

 受付時間 9:00~18:00 年中無休
 大阪本社/〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社/〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階
 ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)

ハンガーゼロで働く! 私の役割



ハンガーゼロでは、現在20数名(パートも含む)が、4つの事業部(①事業管理②海外③国内④災害支援)に配属されて働いています。仕事の役割や業務形態は様々ですが「世界にある物心両面の飢餓を終わらせる・ハンガーゼロを目指す」という共通の理念のもと、共に生きる世界(VOC=ビジョン・オブ・コミュニティ)の実現のために協働しています。その中で3人の若い世代のスタッフに、どのような思いで自らの役割を担っているのかを聞きました。ハンガーゼロは若い世代の力をもっともっと結集していきたいと願っています。



海外事業部 チャイルドサポーター
▶ 門スタッフ ◀

事業管理部
▶ 柳瀬スタッフ ◀

国内事業部 啓発課
▶ 田村スタッフ ◀

皆様と子どもの成長を見守る

チャイルドサポーターでは、貧困地域の子どもの健やかな成長と地域の貧困脱却を目標として活動しています。支援を受けた子どもが無事に義務教育を修了し、その報告を支援者の方と分かち合える瞬間は何より嬉しいものです。日頃から子どもたちを温かく見守り、励ましのメッセージを送ってくださる支援者の皆さまに心から感謝しています。

この仕事を通して、多くの人に支えられていることを実感し、その応援の力が自分を強くしてくれると日々感じています。サポートを受けている子



どもたちにとってはなおの事、日本からの応援や支援がどれほど大きな励みになっているか計り知れません。支援者の皆さまと共に未来を担う子どもたちの成長を見守り、よりよい人生を歩めるよう支えていく。この活動に興味を持つ方が増え、1人でも多くの子どもたちに支援が届くことを願っています。

大切なお捧げものをお預かり

私は国内事務所およびスタッフの活動のサポートや、支援者の皆様からのご寄付を取りまとめるなど、国内のハンガーゼロ活動が円滑に進むようにする働きをしています。支援者の中に



は、サポートをお送りくださる際に書いてくださったり、お問い合わせの際に励ましやお祈りのことばをくださる方々がいらっしゃいます。直接お会いすることができなくても、温かい心で大切なお金や時間を捧げてくださっていることを実感します。お一人お一人の尊い捧げものをお預かりするという自覚を持ち、それらが最大限活動に用いられるようにと心を配りつつ仕事をしています。

…2月6・7日に大阪で「スタッフ研修会」を持ちました。ハンガーゼロが目指す飢餓のない持続可能な社会について一緒に考えながら楽しく学ぶことができました…



ハンガーゼロは貧困・飢餓に苦しむ人々に仕える人材を求めています
東京・大阪事務所までご連絡ください。インターンシップもできます